

かがやき

病院広報誌

Vol.30

2017 秋号

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

「いのちへの優しさとおもいやり」

10月は「臓器移植普及推進月間」です

臓器移植は、臓器の機能が低下し、移植によってのみ、その回復が見込まれる人に対して行う医療で、臓器提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療です。

このような移植医療の適正な実施に資することを目的として、「臓器の移植に関する法律」が平成9（1997）年10月に施行され、一定の実績を積み重ねてきていますが、平成22（2010）年の改正法施行後においても臓器提供事例は、顕著な増加を示していません。

今後、臓器移植の一層の定着・推進を図るためには、より多くの方々に移植医療に対する理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要であることから、「臓器移植普及推進月間」を設け、臓器移植に対する理解と協力のための普及啓発を行っています。

肝胆膵外科

肝胆膵の四方山（よもやま）話

がん治療支援（緩和）科

「がん治療支援（緩和）科」開設しました

ブルーベリーは目に良いのか？

ご自由にお持ちください
TAKE FREE

よもやま 肝胆膵の四方山話

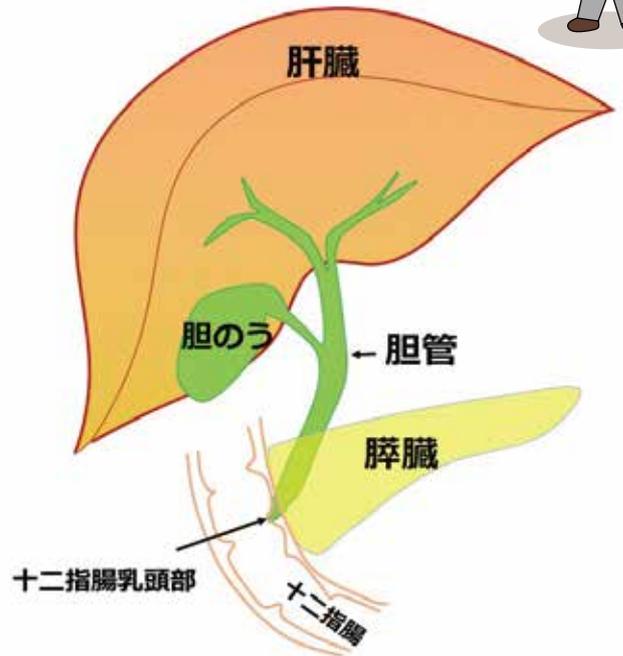
当科は、肝臓、胆道、膵臓疾患の外科治療を担当しています（図）。消化器系臓器は、働きにより消化管と肝胆膵のふたつに大きく分けられます。消化管は消化・吸収のために食べたものを通す管であるのに対して、肝胆膵は直接食べたものは通りませんが、消化を助ける消化液や、胆汁などを分泌することにより消化・吸収に役立っています。つまり肝胆膵は消化・吸収を影で支えています。それでは、肝胆膵の働きを簡単に説明します。

肝臓は、ブドウ糖からエネルギーを作り、タンパク質、アミノ酸、胆汁の生成、解毒機能など様々な働きがあります。胆汁は消化酵素を含みませんが、胆汁が含む胆汁酸は脂肪の吸収を促進させる働きがあります。

膵臓はトリプシンなどの消化を助ける酵素を分泌し、さらにインスリンなど血糖に関わるホルモンも分泌します。

さて、**胆道**ですが、胆汁の通り道であり、胆管・胆嚢・十二指腸乳頭部の3つからなるもので（図の黄緑部）、胆汁を流すのが役目です。胆嚢にできる胆石は、古代エジプトのミイラからも見つかったとおり、古くから人類を悩ませていた病気です。おそらく、胆嚢は体表に近く痛みなど特徴的な症状があり内臓の病気では診断が確定しやすかった

肝胆膵外科を紹介します。
よくわからない科とされているので
肝胆膵の働きと代表的な疾患を説明
することにします。



ため、古くから疾患として認識されてきたのだと思います。人間の内臓全体を表す“五臓六腑”にやはり“胆”が含まれており、中国でも重要視されていたので、グローバルな病気だったのでしょう。

さて、長い前置きでしたが、2つ疾患を紹介します。症状を列記しますので病名を考えてください。

ケース1の症状

- Q** ① 食後数時間してからみぞおちあたりが痛む。
② 右の肩や背中が重苦しい。

A 胃炎なども考えられますが、胆石の症状です。ポイントは、「右の肩や背中が重苦しい」であります。背中からの症状から胆石を想像するのは難しいですが、よく見られる症状で、覚えておくに役に立つと思います。



ケース2の症状

- Q** ① 激しい運動をしないのに2~3ヶ月前から腰が重苦しい。
② 糖尿病が悪化した。

A 膵臓がんの症状です。
①は膵臓がおなかの中で背骨側にあるため腰痛の症状がでる場合があります。
②は膵臓の腫瘍により膵臓の働きが妨げられ、前述のインスリンなどのホルモン産生が低下するためです。腰痛は第一に整形外科的な疾患を考えますが、膵臓も覚えておかなければなりません。

上記2つのケースのように、肝胆膵疾患の症状は千差万別で診断が困難です。あまり悩まず受診してください。治療方法は、外科手術ばかりでなく化学療法、放射線治療などを含めて総合的に判断しますので、ぜひご相談ください。外来でわれわれが担当します。



肝胆膵外科 科長
片寄 友



「がん治療支援(緩和)科」 開設しました



がん治療支援(緩和)科 科長 児山 香

当科は平成29(2017)年4月より新設された科です。
現在わが国においては、男性、女性ともにおおよそ2人に1人が一生のうちがんと診断され、男性ではおおよそ4人に1人、女性ではおおよそ6人に1人が、がんで死亡しております。『がん』という病気は人ごとではないのです。

現在、まだ日本では『緩和ケア』と聞くと『終末期?』『看取り』などのイメージがまだまだあると思います。

当科では『がんと診断された時から緩和ケアが始まる』をモットーに『病気の時期』を問わずすべての時期の患者さんに対し医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、臨床心理士、MSWなどチームの力で全力で応援させて頂きたいと思っております。



具体的には

- 1 がん治療が継続できるようなサポートをします。
 - 手術を受けられる患者さんの栄養、リハビリテーションの強化
 - 化学療法や放射線療法が継続できるような副作用に対するサポート
- 2 がん治療の有無にかかわらず、身体的苦痛(痛み、悪心・嘔吐、呼吸困難、倦怠感など)や精神的苦痛(不安、心配事、心のつらさなど)のサポートに努めます。



外来は火曜、水曜、木曜の午前中です。
病床は5床にて対応可能です。

Eye health

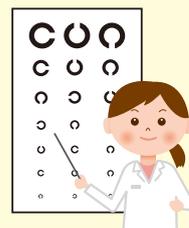
ブルーベリーは目に良いのか?



ブルーベリーにはポリフェノールの一種であるアントシアニン(紫色の色素)が含まれてます。これが網膜にあるロドプシンという光感知タンパク質の再合成に関与し「見る」という機能にかかわっているため、目によいと考えられているようです。しかし、これによる目の回復効果があるという研究報告はまだまだありません。

アントシアニンには抗酸化作用もあり摂取することは悪いことではありませんが、ナスやぶどう、赤じそ、黒豆など身近な食材からも摂取できます。

目の健康のためには、バランスの良い食事をとることやパソコンやスマホで目を酷使しないことをおすすめします。



眼科 視能訓練士
目黒 真理子

INFORMATION

当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！



「皆さまの声」をお聞かせください！

当院では、ご来院される皆さまと共に、よりよい病院をつくるための取り組みとして、アンケートを実施しています。アンケート用紙と回収箱は、本館1階ホールおよび2階図書コーナーに設置しています。

どのようなご意見でも構いませんので、「皆さまの声」をぜひお聞かせください。



乳腺・内分泌外科からのお知らせ

乳腺についてお悩みのある方、または検診結果が要精密検査でどこを受診したらいいのかわからない方、ぜひ当院の乳腺・内分泌外科にご相談ください。



受診方法は次のとおりです

■診察日時／月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）

■受付時間／8:30~11:30

（予約不要、受付時間内にお越しください。）

- 受診の際は、紹介状もしくは要精密検査結果をご持参ください。紹介状をお持ちでない患者さんでも受診は可能ですが、その場合は初診に係る費用として3,000円(税別)を自費でご負担いただきます。
- 即日検査により約7~10日間で確定診断し治療を開始いたします。
- マンモグラフィ検査は女性放射線技師が対応いたします。

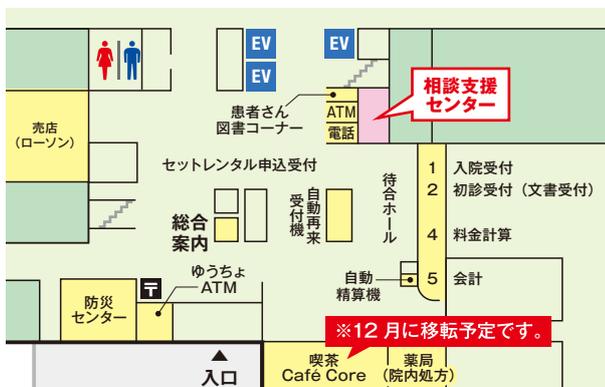
「喫茶 Café Core」と「理容室」がリニューアルオープンします！

本館1階にある「喫茶 Café Core」と、2階にある「理容室」が移転し、平成29（2017）年12月からリニューアルオープン予定です。移転先は、本館の隣に新築される第2プレハブ棟になります（病院南側）。ほっと一息つける憩いの場所としてぜひご利用ください。



相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上のことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのかわからないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。



- ◆日時 月~金曜日（祝日、年末年始を除く）
- ◆TEL 022-259-1221（代表）内線 2582
- ◆E-mail c-sodan@hosp.tohoku-mpu.ac.jp

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！



健康講話のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「健康講話」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催日時：下記の日程の水曜日 13:30~14:30
- 開催場所：高砂市民センター
- 参加料：無料

【予定演題】

- 10月11日 ①骨粗鬆症のはなし
※午前開催(10:00~11:00)になります。
- 10月25日 ①身近になった心臓リハビリテーション
- 11月8日 ①多発性硬化症・視神経脊髄炎の基本的なこと
②多発性硬化症・視神経脊髄炎の治療法
- 11月22日 ①肺がんの最新治療
- 12月13日 ①たばこの危険について
②緩和医療について



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

